

# 3 常任委員会で所管事務調査

## 担当部署から現状など聞き取り

議会には、総務、教育民生、産業建設の3常任委員会があり、毎年、町の事務・事業の調査や提言活動を行っていますが、本年度も7月から所管事務調査が始まりました。調査は委員会が担当する役場の部署を対象に行うもので、調査テーマに沿い職員への聞き取りや現地視察が行われています。

### 総務 津波から漁業者を守る取り組み

総務常任委員会（道又秀悦委員長）の調査は、7月20日、総務、企画財政、税務会計、消防防災の4課に対し行われました。調査テーマは▷行政改革推進の現状と今後の取り組み▷地域防災の課題と対応策▷町財政の現状と健全な運営▷第8次町総合発展計画の進捗状況▷町税収納の現状と課題▷収納対策室の現況等▷消防署と消防団の連携▷消防団の現状と課題の8項目。

その結果、行政改革の推進では「住民協働推進の受け皿として、地域の実情にあった組織・団体等の検討が必要」。また、地域防災では「津波災害などから漁業者等を守るための機器整備や関係者の協議の場の設定が大事」など、活発な意見交換がなされました。



担当課から説明を受ける総務常任委員



織笠小学校を視察する教育民生常任委員

### 教育民生 学校施設の早期改修

教育民生常任委員会（木下志き子委員長）の調査を7月19日に住民生活課、保健福祉課、教育委員会を対象に行いました。テーマは▷国民健康保険事業の運営▷環境、廃棄物処理、リサイクル▷介護保険の現状と課題▷社会福祉施設の管理運営▷町民の医療と健康▷学校教育施設の管理運営▷中高連携教育についての7項目。

質疑では「ごみの減量化を図るため、住民の意識改革に粘り強く取り組みを」「学校教育施設の改修については、子どもたちの安全確保のため早急な対応を」「住民の命を守るため医療体制の充実を図られるよう国・県に要請を」など活発な意見の交換がなされました。

### 産業建設 災害に強い水道管の布設

産業建設常任委員会（山崎幸男委員長）の調査を、7月18日に地域整備課、産業振興課、水道事業所を対象に行いました。テーマは▷土地区画整理事業の進捗状況▷町道及び排水施設の現状と課題▷建設業者格付けの見直しと入札制度▷観光振興の施策の取り組み状況▷企業誘致対策▷カキ殻等貝殻廃棄物の処理対策▷水道事業の改良整備についての7項目。

質疑では「町発注の工事入札には地元業者を優先的に指名を」「観光客を呼び込むための観光イベントを」「カキ殻の有効活用を研究・開発する取り組みを」「配水管の布設には災害に強い耐震の水道管布設を」など活発な意見が交わされました。



織笠水源地を視察する産業建設常任委員